

月刊★星空の散歩道 2021年 11月号

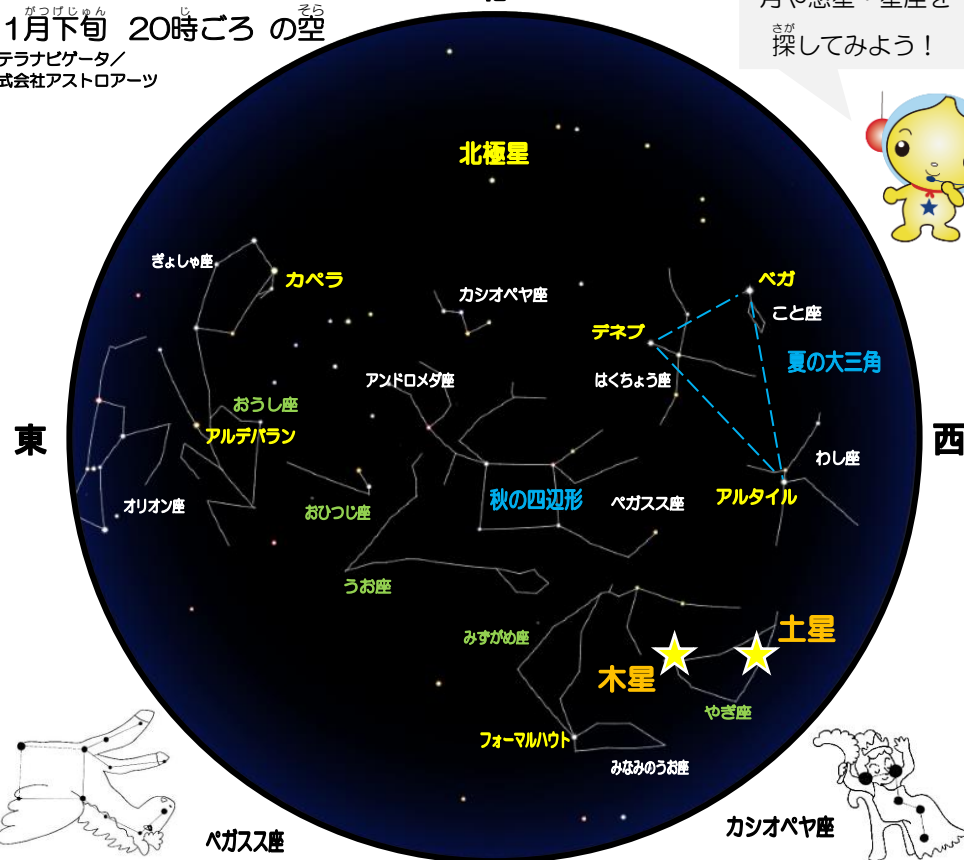
11月上旬 21時ごろ

11月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲーター
株式会社アストロアーツ

北

つき わくせい せいざ
月や惑星・星座を
探してみよう！



11月の星空

★宵空の主な星座と明るい星★

夏の星座は西の空、秋の星座は南と天頂、冬の星座は東の空に見えています。

- < 西 > こと座 (ベガ)、わし座 (アルタイル)、はくちょう座 (デネブ)
- < 天頂 > ペガス座、アンドロメダ座
- < 南 > みなみのうお座 (フォーマルハウト)
- < 東 > ぎょしゃ座 (カペラ)、おうし座 (アルデバラン)、オリオン座
- < 北 > 北極星、カシオペア座

☆天文トピック☆

11月8日 金星食

伊丹では約9年ぶりに金星が月に隠される現象が見られます。金星は13時43分頃から隠され、14時25分頃、月の東側(明るい方)から現れます。双眼鏡があると、月のそばに輝く金星が見つかりやすいかもしれません。太陽を見ないようにしましょう。

11月19日 部分月食

月が欠け始めてから昇ってきます。東側が開けた場所で観察しましょう。月の大部分が欠けて見え、18時3分頃が最も欠けた状態になります。19時47分頃、満月に戻ります。

☆月の形の変化☆

11月 5日	新月	●
11月 11日	上弦	◐
11月 19日	満月	◯
11月 27日	下弦	◑

☆11月の惑星☆

金星…夕方、南西の空
木星…日没後、南の空
土星…日没後、南の空

<天文コラム> 暦のはなし ～地球と太陽の関係～

世界には様々な暦がありますが、現在、日本では「グレゴリオ暦(太陽暦の一種)」を使用しています。太陽暦は地球が太陽のまわりを一周する365.2422日を基準に作られているため、1年は365日です。しかし、毎年365日とすると端数の「0.2422日」ずれていきます。そこで、1日多い「うるう年(西暦が4で割り切れる年)」を4年に1度設けて、調整しているのです。例外として、「西暦が100で割り切れて400で割り切れない年(例えば西暦2100年)」は1年が365日となります。

暦は他にも、月が地球のまわりを一周する約29.5日をもとにした「太陰暦」があります。太陰暦では1年が354日(29.5日×12か月=354日)となり、太陽暦の1年よりも約11日短くなります。それを補うため、太陰暦に19年に7回ほど「うるう月」を入れて作られた暦が「太陰太陽暦(旧暦)」です。ただ、「うるう月」のある年は1年が13か月となり、季節が最大で約1か月も前後してしまうことがあります。これと比較すると、グレゴリオ暦は「うるう月」を必要としないため、季節とのずれもほとんどありません。

日本では明治5(1872)年を12月2日までとし、翌日12月3日を明治6(1873)年1月1日とすることで、太陰太陽暦からグレゴリオ暦への改暦を行いました。現在の私たちは地球と太陽の関係のみから作られたこのシンプルな暦のおかげで、季節のめぐりをすれなく感じられるのです。

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2021年10月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

